

1 市の概要

人口	253,410人
保護率	0.7%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	14.2
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	4.1
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	3.1
就労・増収率(%)	57.4

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度随意契約）
事業費	5,390千円（一時生活：2,100千円、自立相談：3,290千円）
理由 (委託)	○平成24年～平成26年度に「ホームレス等貧困・困窮者の『絆』再生事業」を静岡県がNPO法人POPOLOに委託。平成27年度から生活困窮者自立支援制度において一時生活支援事業がスタートするに伴い、それまでホームレス等の支援でPOPOLOを利用していた7市（平成30年度は11市）で協定を結び「ベッド単位での契約による費用分担」という手法で各市がPOPOLOと委託契約を結ぶ方式を採用した。 ○富士市は、3.5ベッド（7名）の負担割合で委託。
事業概要	○POPOLOでは行政書士、ファイナンシャルプランナー、キャリアコンサルタント、年金アドバイザーなどの資格を有する常勤3名、非常勤4名の職員を施設内事務所に配置。 ○施設 設置型シェルター（事務所併設） 1ヶ所 借上げ方シェルター（民間アパート） 3室 ○定員 男性25人 女性3人
その他 特記事項	○POPOLOとは、各市一時生活支援事業とともに、利用者に対する自立相談支援事業を委託。

4 事業実績（H30年度）※富士市委託分

利用者数	延べ宿泊数	就労・住居決定	生活保護	支援継続	その他※
43人	2,478泊	20人	8人	8人	7人

※「その他」の内訳 自主退去7人

5 事業実施のポイント ～社会参加による自立～

利用者自らによる自己決定を支援

- 本人の自己決定を大事にし、非合理的な思い込みがある場合は、自身の認知変容を促す相談援助を心掛けている。
- 施設での集団生活のなかで規則正しい生活習慣が身に付くよう、施設内ミーティングを繰り返し実施し、生活面をサポート。
- 利用者の求職活動において、日雇い労働などではなく安定した長期的な就労につながるよう、キャリアコンサルティングを実施し、自己理解・仕事理解を深めるアプローチを行う。
- ボランティア活動へ積極的に参加し、利用者は誰かに頼られることで自己肯定感を高め、労働意欲向上を図る。



利用者の声

- 相談員が常駐しているので、相談したい時にすぐ相談できた。
- 適度な距離を保ちながら生活面・就労面を支援してくれた。

6 取り組んで良かったこと

○施設では、施設利用後、自立した方々に定期的にハガキを送り見守り活動を行っているが、そういった方々が施設のクリスマス会などのイベントに参加し、現在の利用者にも体験を語るなど、先行きに不安を抱える利用者のロールモデルとなっている。